※※

今日の力

※※

2014年6月9日～6月15日

翻訳　　箕 作 玲 子

編集　　岩 田 欣 三

この冊子の聖句は，新改訳聖書第三版を使用しています。

御茶の水キリストの教会

6月9日（月）

私は声をあげて，主に呼ばわる

聖書朗読　　詩篇 3篇

私は声をあげて，主に呼ばわる。
すると，聖なる山から私に答えてくださる。　　詩篇　3：4

ここアメリカでは，敵に命をつけ狙われるといった状況は，ほとんどの人には通常では考えられません。私たちの代わりに危険に立ち向かってくださる人々がいるからです。その一方で，不安，疑心，恐れなど多くの内なる敵に悩まされることからは逃れられません。

ダビデが救援と助けを求め，声をあげて主に呼ばわったように，私たちもまた，日々助けを求めて声をあげます。「主よ，私の人生を御心に適うものとさせてください。全てをあなたに委ねることができるようお導きください。どの様な状況や困難の中でも，私たちが必要とするのはあなたただお一人だと覚えていられるよう，お助けください」。――主はダビデにお答えになったように，私にもお答えくださいます。

ダビデは自身の置かれた困難から助け出してくださるのは神様だけだとよく理解していました。私たちもこの時のダビデと同じ状況にあります。神様は絶望から私たちを救い出し，私たちの岩なる主につながっていられる人生へと導いてくださいます。今日のこの時，声をあげて主に呼ばわり，言葉では言い尽くせないほどの喜びで身を満たしませんか？

讃美歌　260

祈　り　天のお父様。御心に従い，全てをお父様に委ねることができるようお導きください。お父様だけがお与えになることのできる，大いなる喜びを受け容れられるよう，恐れを取り除き，信仰をお与えください。声をあげた時にいつも耳を傾けて下さり，お答えくださることに感謝します。

イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

シェリー・リームズ
テキサス州　ラボック

6月10日(火)

決してお見捨てにならないお方

聖書朗読　詩篇　９：１～１０

見よ。わたしは, 世の終わりまで, いつも, あなたがたとともにいます。

マタイ　２８：２０

今年, 夫フランクと私は結婚 50 周年を祝いました。半世紀に亘り, お互いを見捨てたことはありません。感無量なことではありますが, 同時に恐れ多いこととも感じられます。喜びの中にも悲しみが影を落とします。

結婚生活が 50 年に達したのは祝うに値することですので, もちろん喜びに満たされます。互いに誓い合った約束も果たして参りました。意義深く充実した人生を共に歩んで参りました。恵みに満ちた時も困難な時も互いを信頼し, 信頼に足る人間であるように心がけて参りました。

それでも悲しみを覚えずにはいられません。何故なら, 共に過ごした時間が長いだけに, 私たち夫婦に残された時間は短いからです。事故で同時に死に至ることでも無い限り, 夫か私のどちらかが先立ち, 残された者は孤独な生活を余儀なくされます。

神のみが私たちをお見捨てにはならない
慈悲の御父よ　日ごと, 日ごとに,
あなたへの愛が深まります
あなたのみ恵みは　私の歩む路に散りばめられる
輝く海辺の 砂のように
輝く海辺の 砂のように

――――*フレデリック・W・フェーバー*

讃美歌　475

祈　り　私たち夫婦の結婚に感謝します。お父様のとこしえの愛のお約束は私たち, そして周囲の者たちに深い恵みをもたらして下さいました。感謝します。お父様の愛と義, そして変わることの無い真実なお方であられることに特に感謝します。お父様は永遠の御方なれば, 私たちを忘れることもなく, お見捨てになることもありません。

イエス様の御名によってお祈りします。　アーメン。

ビリー・シルビー
カリフォルニア州　ロサンゼルス

6月11日（水）

密　林　の　羊

聖書朗読　　詩篇　２３篇

たとい, 死の陰の谷を歩くことがあっても, 私はわざわいを恐れません。あなたが私とともにおられますから。あなたのむちとあなたの杖, それが私の慰めです。

詩篇　２３：４

羊の群れがアルパカに寄り添われているのを目にしたことがあります。これは, コヨーテが野生している地域で羊を放牧する際の対策です。実は, アルパカにはコヨーテを襲う習性があるのです。

ダビデの生きた時代, 羊の群れには羊飼いが付き添い, 野山にはライオン, 熊, 豹, そして狼など, 恐るべき捕食動物が生息していました。中には『ヨルダンの密林』(エレミヤ５０：４４)に身を潜め, 獲物を求めて羊のいる牧草地に近づくものもありました。

ヨルダン川東の草地が乾燥すると, 羊飼いは羊を連れて良い牧草地を求め, 茂みを西へと通り抜けて川を渡り, 雨季が過ぎるとまた東に連れ戻す必要に迫られました。

渓谷を西へ東へと進むとき, 羊には, 周囲をうろつく恐ろしい肉食動物から身を守る手段がありません。羊飼いに全てを委ねるしかないのです。ダビデは, 羊が羊飼いに全てを委ねるように, 自身も全てを神に委ねるしかない時もあることをよく知っていました。

私たちもまた, 良い牧者に身を委ね, 守っていただかなくてなりません。羊飼いの近くに私たちの身を置かせていただきましょう。

讃美歌　527

祈　り　お父様。私たちは素直にお父様に従い, たましいを御子に委ね, お守りいただきます。

イエス様の御名によってお祈りします。アーメン。

アル・コーネル
ウィスコンシン州　ヒルスボロー

6月12日（木）

主に拠り頼むことができていますか？

聖書朗読　詩篇　２５：１～１２

心を尽くして主に拠り頼め。自分の悟りにたよるな。あなたの行く所どこにおいても，主を認めよ。そうすれば，主はあなたの道をまっすぐにされる。　箴言　3:5～6

誰にも助けが必要だと気づくまで，人は何度同じ過ちを犯すのでしょう。私たちは神の愛のお導きがなければ御心に適った判断を下しながら生きることができません。個人の自由とは，決して私たちにとって恵みではないのです。歩くことも，その歩みを確かにすることも，私たちの力の及ぶところではありません（エレミヤ１０：２３）。私たちがこの国で「自由」と呼ぶものはパウロによれば「隷従」となります。ローマ人への手紙 6章を見なさい。私たちは罪の奴隷か義の奴隷として生きるしかありません。義の奴隷となるには，意志を神の御旨の前に明け渡さなくてはなりません。

具体的には，自らの悟りに頼ることをやめ，神の御言葉について深く黙想することが求められます。本日の聖書箇所，『主よ。あなたの道を私に知らせ，あなたの小道を私に教えて下さい。』（詩篇 25:4）に表された作者の心に，私は強く揺さぶられます。ここまで希求しながら生きていますか？　神の教えを実践するまで，真に信じることはできません。

一つ提案をしたいと思います。詩篇２５篇を暗記してみましょう。毎朝この詩篇について黙想，または暗唱することで一日を始めてみてください。個人の自由や悟りを神の大いなる御旨の前に明け渡した時，どのような変化が起きるか，一つ一つていねいに確認してください。神に自らの一切を委ねることを通して，信じることの真の意味を体得しましょう。

讃美歌　365

祈　り　慈愛に満ち給う神様。あなたを信じ，従い，あなたが私たちに望まれる人生を歩めますように。豊かな御言葉をいつも心の糧としていただくことができますように。

イエス様の御名を通して。アーメン。

アール・D・ラベンダー
テネシー州　ブレントウッド

6月13日（金）

主 は 近 く に お ら れ る

聖書朗読　詩篇　３４：１１～１８

主は心の打ち砕かれた者の近くにおられ，霊の砕かれた者を救われる。

詩篇３４：１８

世間では自信を持つことの重要性が強調されます。しかし，聖書は必ずしもそう諭してはいません。『神へのいけにえは，砕かれた霊。砕かれた，悔いた心。神よ。あなたは，それをさげすまされません。』（詩篇５１：１７）。『主はあなたに告げられた。人よ。何が良いことなのか。主は何をあなたに求めておられるのか。それは，ただ公義を行い，誠実を愛し，へりくだってあなたの神とともに歩むことではないか。』（ミカ６：８）。『心の貧しい者は幸いです。天の御国はその人たちのものだから。』（マタイ５：３）。『神は，高ぶる者を退け，へりくだる者に恵みをお授けになる。』（ヤコブ４：６）。

キリスト者がいわゆる「自信」を持っていない，持ってはいけない，ということではありません。私たちは自信を持ちますが，信じる対象が自己ではなく，神である，というだけです。『見よ。神は私の救い。私は信頼して恐れることはない。ヤハ，主は，私の力，私のほめ歌。私のために救いとなられた。』（イザヤ１２：２）。

「高きにのぼるには，へりくだることだ」と表現した作家がいます。その通りではないでしょうか。主のお側に参るには長く旅路をさまよう必要はありません。謙虚に生きることで，主御自身が近くにお出でになってくださいます。

我がために　死にたまえる　主イエスの
くすしきみわざ　いまぞ歌はん
栄光の御国捨て　十字架にかかりしを

――――*フランシス・H・ロウリー*

讃美歌　199

祈　り　天にまします寛き御心のお父様。私たちが自らの弱さと罪深さを覚えることができますように，また，お父様にのみ信頼を寄せていられますようにお助け下さい。謙虚さの模範となられ，私たちの身代わりとなって十字架の死を引き受けて下さったイエス様の尊き御名を通してお祈り申し上げます。アーメン。

セイヤー・サリズベリー
オハイオ州　トリード

6月14日（土）

道　を　渡　る　時

聖書朗読　　詩篇　３７：２３～３１
　神はわれらの避け所，また力。苦しむとき，そこにある助け。　　詩篇　４６：１

　母親が幼い子の手をひき，車の多い道を二人で渡る。誰もが目にしたことのある光景でしょう。数年後には同じ母親が思春期を迎えた子に「左右をよく確認してから道を渡りなさい！」と助言を与えることになるでしょう。人は，まずは強く手をひかれることによって，そして次第に愛に満ちた助言によって，事故に遭わない術を徐々に学びます。
　しかし，どんなに注意をはらい，健康で安全な生活態度を保つべく努力をしていても，事故は起こり得ます。幸い，救急医療の発達や医療介護の拡充により，希望を持って安心し，回復に向かうことが可能です。
　詩篇３７篇では，私たちの身を案ずる神様のご慈愛への感謝が表されています。神様は，私たちを混乱させる声や誘惑，危険に満ちた世の中で，私たちが安全に日々を過ごし，生きる意味を見失わないようにいつでも見守っていてくださいます。私たちの足元を照らして下さることを約束して下さいます。よろめいた時には再び立たせて下さいます。私たちの歩みが孤独な物になることはありません。そして，私たちに必要な注意を促す御言葉を，聖書を通して絶えず私たちの心に語りかけて下さいます。
　私たちが傷ついた時，神様はその御手で「救急医療」を施してくださいます。私たちが立ち向かう危険についてもよくご存知で，常に注意を持ってご覧くださいます。そして人生の中で出会う交通量の多く，困難に満ちた道に遭遇した時，私たちは神様の教えを信じ，従い，注意をはらってそれを渡ります。

讃美歌　第二編　82
祈　り　愛する神様。神様の歩みに沿って歩み，神様の愛に満ちた助言に耳を傾けていられますようにお助けください。神様の御慈悲が私を導き，守って下さることを覚えて，信仰を深めるようお助けください。
　イエス様の御名によって。アーメン。

アン・K・ヤング
テキサス州　アビリン

6月15日（日）

泥　と　賛　美　と

聖書朗読　　詩篇　４０：１～１０
　あなたがたは，地の塩です。・・・あなたがたは，世界の光です。
マタイ　５：１３～１４

　滅びの穴や泥沼で汚れ，抜け出せない経験をせずに新しい歌を歌うこと，つまり，悔い改め新しく生きることは可能だろうかと考えたことが何度かあります。具体的な形は違っても，恐らく誰しも，流砂のような罪に身を引きこまれ，反抗のぬかるみに足をとられ，どんなに神に従おうとあがいても泥沼から這い出ることができなかった経験があるのではないでしょうか。
　しかし，そんな状況にあってもなお，医者は要らないと言い張ったパリサイ人のように，家族，友達，そして他のクリスチャンに自分は汚れていないと断言してしまうことがあります。普段でも，良い印象を持たれようと衣服をはじめとして，うわべを取り繕うのが普通ではないでしょうか。自身の汚れは見せたくないものです。人は，自分が汚れていないと信じていたいだけでなく，きれいに見られたいとの思いにも陥りやすいものです。
　私は，滅びの穴にも泥沼にも落ちてしまっていたことを告白したいと思います。その御手で私を引き上げ，巌の上に置いてくださった神様に深く感謝します。神様は，己の汚れを知る者はこうしてお救いくださるのです。
　このように救い出された者の心は新しい歌で溢れ，力強く讃美するようになります。そうして周囲の，神が汚れを洗うのを目撃した者は讃美する者を通して，神の御姿を見ようと目を凝らすようになります。更には，やがて，神の御恵み溢れる力強い御業と御慈悲の賜物に気づくようになるのです。

讃美歌　第二編　167
祈　り　天のお父様。お父様の御恵みが私たちをいかに救い，変えて下さるのかを，福音をまだ知らない人が目にし，お父様を信じるようになりますようにお祈りします。
　イエス様の御名によって。アーメン。

ペニー・F・ニコルズ
テキサス州　オデッサ